しみず外為 WEB サービス

操作マニュアル

第1.0版

令和7年8月

株式会社清水銀行

目次

1. 7	ご利用にあたって	1
1	サービス概要	2
	1.1 サービス内容	2
	12 サービスご利用・間	
2	取扱通貨について	3
3	ご利用可能環境について	4
4	セキュリティについて	5
5	操作こ必要な D・パスワード	7
6	適用相場について	8
7	操作方法の概要	9
	7.1 メニュー操作	9
	72 ボタンの説明	
	7.3 操作の流れ	11
8	しみず外為 WEB サービスご利用時の注意事項	13
9	弊行からの重要なお知らせ	14
2. 0	ご利用開始までの流れ	16
1	ご利用開始登録の流れ	17
2	ご利用 開 始登録	18
	21 ログインID取得 ※しみず法人ダイレクトを新規申込されたお客さま	18
	22 電子証明書発行 ※しみず法人ダイレクトを新規申込されたお客さま	
	23 初回ログイン ※しみず法人ダイレクトを新規申込されたお客さま	
	24 ユーザの自己	
	25 しみず外為WEB サービスの初回利用 26 企業情報(承認パターン) の設定	
	27 ユーザへの外為取別権民党:	00
	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	

3. ログイン	29
 操作手順	
2 外為トップ画面	
4. 仕向送金	36
1 概要	37
2 操作手順21 送金依頼 (画面入力)22 作成中取りの修正・削除23 取引院会24 承認待ち取りの写戻し	38 46 48
5. 承認	53
1 概要	54
2 操作手順	
6. 各種管理	62
1 概要	63
2 操作手順21 操作履歴院会22 企業情報の照会・変更23 外為権限の照会・変更	64 65
7. 便利な機能	70
 テンプレート機能	72
2 複写作成	
3 一時保存	76

3.1 一時保存3.2 作業の再開	
4 添付ファイルの登録・照会	78
4.1 添付ファイルの登録 4.2 添付ファイルの照会	
5 計算書ファイルの照会	81
6 銀行情の取得・検索	82
6.1 IBAN から銀付酵 関攻	
62 BC から銀汁	
6.4 直接入力	88
8. 印刷・ファイル取得	90
1 印刷	91
 1 印刷	
2 ファイル取得	93
 ファイル取得 利用者情報の管理 	93
2 ファイル取得	92 93 94 95
2 ファイル取得	92 93 94 95 95 95
2 ファイル取得	92 93 94 95 95 95 95
2 ファイル取得	93 93 94 95 95 95 95 96

1. ご利用にあたって

1 サービス概要

1.1 サービス内容

しみず外為 WEB サービスは、以下のサービスをご提供します。

サービス項目	サービス概要
仕向送金	海外金融機関宛ての送金依頼、および国内金融機関宛ての外貨建送金依頼 を行うことができます。 また、取引明細(計算書)を照会することができます。

1.2 サービスご利用時間

1.2.1 サービス利用可能時間(金融機関営業日)

サービスの種類・内容		サービス利用可能時間(金融機関営業日)	
	仕向送金	8:00~23:00	

※休祝日、および12月31日~1月3日を除く月曜日~金曜日(金融機関営業日)にご利用いただけます。

※システムメンテナンス等により、一時的にサービスを休止することがあります。

1.2.2 受付時限

サービスの種類・内容		受付時限	
什向送金	外国向け外貨建外国送金	送金指定日当日の11:30まで	
川小文平	円建および国内向け外貨建外国送金	送金指定日当日の10:00まで	

2 取扱通貨について

通貨	仕向 送金
日本円	0
アメリカ・ドル	0
1-0	0
スターリング・ポンド	0
カナダ・ドル	0
オーストラリア・ドル	0
スイス・フラン	0
ニュージーランド・ドル	0
デンマーク・クローネ	0
ノルウェー・クローネ	0
スウェーデン・クローネ	0
香港ドル	0
シンガポール・ドル	0
タイ・バーツ	0
中国元	0



ご利用可能環境について

しみず外為 WEB サービスをご利用いただくためには、ご利用可能な環境を準備いただく必要があります。

- ■インターネット経由のメールが受信できるメールアドレスをお持ちであること。
- ■OS とブラウザ(インターネットに接続するソフト)のバージョンはしみず法人ダイレクトバンキングサービスのホームページ(http://www.shimizubank.co.jp/corporate/rationalization/direct/system.html)をご参照ください。
- ■PDF 形式ファイルをご閲覧いただくには、アドビ システムズ社の「Adobe Reader」が必要です。



セキュリティについて

■256 ビットSSL (Secure Socket Layer) 暗号化方式

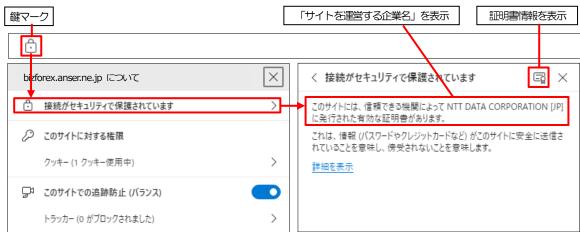
しみず外為 WEB サービスでは、本サービスを安心してご利用いただけるよう、お客さまのパソコンと しみず外為 WEB サービスのコンピュータ間のデータ通信について、暗号化技術の 256 ビット SSL 暗 号化方式を採用し、情報の漏えい・書換え等を防止します。

■EVSSL 証明書 (Extended Validation) の採用

しみず外為 WEB サービスでは、フィッシング詐欺への対策として EVSSL 証明書を採用し、セキュリティの強化を行っています。

EVSSL 証明書は、実在する運営者の正当なサイトであることを証明する規格で、アドレスバーの鍵マークを押下することで、「サイトを運営する企業名」が確認可能です。

【Microsoft Edge の場合】



※Microsoft Edge 以外のブラウザをご利用の場合も、同様に鍵マークを押下することで証明書情報が確認可能です。

⚠ 注意

→ アドレスバーに鍵マークが表示されない、もしくは「サイトを運営する企業名」が弊行でないなどの場合は、 弊行に見せかけたフィッシング(不正)サイトですので絶対にログインしないようご注意ください。

■ログインID、パスワード等の管理について

「ログインID」「ログインパスワード」「確認用パスワード」は、お客さまがご本人であることを確認するための重要な情報です。これらを第三者に知られること、またお忘れになることのないようご注意ください。定期的にパスワードを変更していただくとより安全性が高まります。

⚠ 注意

- ▶ パスワードは絶対に第三者へ教えないでください。弊行の者がお客さまにパスワードをお尋ねしたり、電子メールなどでパスワードの入力をお願いしたりすることはありません。
- ▶ パスワードを第三者へ知られた、もしくは知られたと思われる場合、直ちにお客さまご自身でパスワードの変更手続きを行ってください。

>>>> パスワードの変更方法については P.95 参照

■電子証明書の採用

あらかじめお客さまのパソコンに弊行が発行する電子証明書を取得・格納し、ログイン時に電子証明書、 およびログインパスワードによりお客さま本人であることを確認するものです。

ID・パスワード情報が漏えいした場合でも、電子証明書が格納されたパソコンを使用しない限りサービスを利用することができないため、第三者による不正利用のリスクを軽減し、セキュリティ面の強化がはかれます。しみず外為 WEB サービスでは、電子証明書の取得・格納を必須とさせていただいております。

■ソフトウェアキーボードについて

パスワード入力時に、ソフトウェアキーボードを利用することにより、キーボードの入力情報を盗みとるタイプのスパイウェアからパスワードを守ることができます。

⚠ 注意

- ▶ ソフトウェアキーボードを使用されても、スパイウェアによる被害を受ける恐れが完全に無くなるわけではありません。
- スパイウェア対応のウィルスソフトをご利用ください。また、ウィルス対策ソフトは常に最新の状態に更新し、 定期的にウィルスチェックを実施していただきますようお願いします。

■取引のご確認

ご依頼いただいたお取引の受付や処理結果等の重要なご通知やご案内をスピーディに電子メールでご案内いたします。

お客さまがお取引を実施したにもかかわらず電子メールを受信しない場合、またはお心当たりのない電子メールが届いた場合はお取引店または清水銀行外為ヘルプデスクまでご連絡ください。

■ご利用履歴の表示

ヘッダ(画面右上)に直近3回のご利用日時を表示し、不正に利用されていないかを確認できます。 ご利用日時にお心当たりのない場合は、お取引店または清水銀行外為ヘルプデスクまでご連絡ください。

■タイムアウトについて

ログアウトをしないで長時間席を離れた場合のセキュリティ対策として、最後の操作から一定時間が経 過すると操作が継続できなくなる設定を行っています。

操作が継続できなくなった場合は、一度ログイン画面に戻ってから再度ログインしてください。 また、しみず外為WEBサービスを終了する際に、ブラウザの「×(閉じる)」ボタンを使用すると一定 時間利用ができなくなりますので、必ず「ログアウト」ボタンをクリックしてください。



操作に必要な ID・パスワード

■ログインID

お客さまの名前に代わるものであり、ログインの際などに必要となります。

ご登録の際は、半角英数字記号が混在した6~12文字で指定してください。(英字は大文字と小文字を別の文字として区別します。)

■ログインパスワード

ログインする際に、ご本人様であることを確認するためのパスワードです。

ご登録の際は、半角英数字記号が混在した6~12文字で指定してください。(英字は大文字と小文字を別の文字として区別します。)

■確認用パスワード

仕向送金などの依頼内容を入力後、弊行へのお取引の申込を行う際、承認操作を行う際、また各種登録 事項の変更(メールアドレス等)を行う際などに入力が必要となります。

ご登録の際は、半角英数字記号が混在した6~12文字で指定してください。(英字は大文字と小文字を別の文字として区別します。)

⚠ 注意

- ▶ 「ログインID」、「ログインパスワード」、「確認用パスワード」は、それぞれ異なる文字列をご指定いただく必要があります。
- ▶「ログインパスワード」および「確認用パスワード」を一定回数連続で間違えた場合は、安全のため自動的にサービスの利用を停止します。
 - >>>> パスワードの管理手順(変更、利用停止解除)については P.93 参照



適用相場について

- ■為替予約のご指定がある場合は、為替予約の相場を適用します。
- ■為替予約のご指定がない場合は、以下の相場を適用します。

通貨	適用相場	公開時間	公開場所
米ドル	送金指定日における弊行所定の	10:00頃	しみず外為 WEB サービストップ画面
その他の通貨	外国為替相場(公示相場)	11:30頃	

[※]送金指定日を先日付とした場合は、一律、送金指定日における弊行所定の外国為替相場(公表相場)が適用されます。



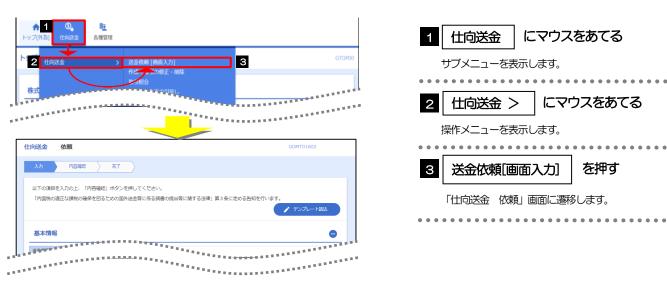
操作方法の概要

7.1 メニュー操作

メニュー操作は以下の2とおりの方法があり、どちらでも操作が可能です。 ここでは、「仕向送金」メニューから「送金依頼 [画面入力]」を選択する場合の例を説明します。 (以下、本マニュアルのメニュー操作は、すべて「メニュー選択方式」での操作手順を記載しています。)

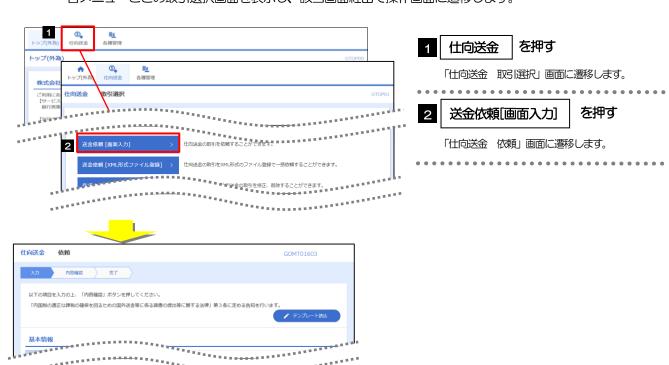
7.1.1 メニュー選択方式

メニュー上でのマウス操作により、操作画面に直接遷移します。



7.1.2 画面選択方式

各メニューごとの取引選択画面を表示し、該当画面経由で操作画面に遷移します。



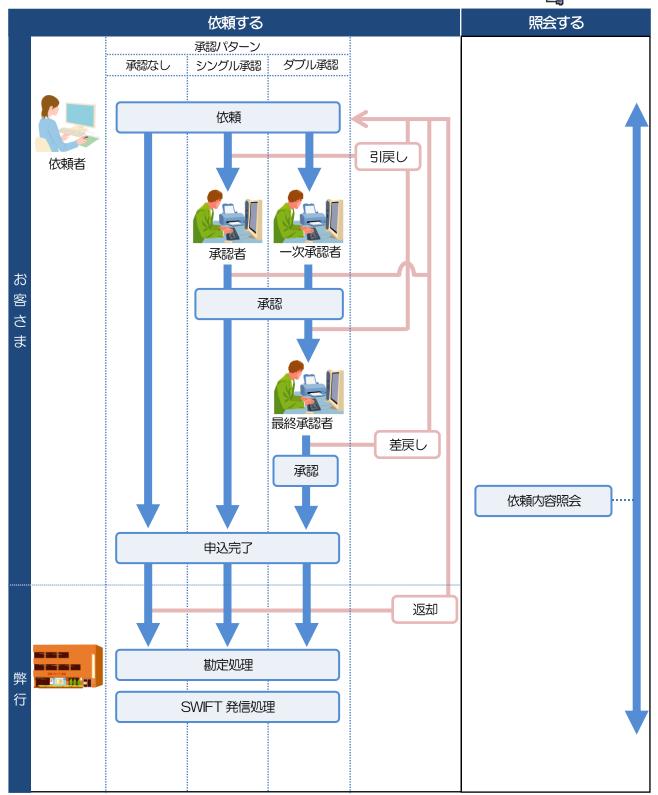
7.2 ボタンの説明

しみず外為 WEB サービスでは、入力画面に各種のボタン機能を用意しています。 各ボタンの概要は以下のとおりです。(詳細は該当頁をご参照ください。)

		対象サービス	
ボタン	機能概要	共通	仕 回 签
□ テンブレート保存	依頼結果、修正結果、または照会結果画面から、よくある取引の内容を テンプレート (繁型) として登録することができます。 >>>>> P.72 参照	_	0
▶ テンブレート読込	依頼入力画面から、お客さまがあらかじめ登録したテンプレート(よくある取引の内容を登録した雛型)を読み込むことで入力の手間を省くことができます。 >>>>> P.73 参照	_	0
✔ 複写作成	照会内容を複写/再利用したうえで、新しい依頼取引を作成することができます。 >>>>> P.75 参照	_	0
□□□時保存	入力を一時中断して保存することができます。中断した取引は作成中取引一覧画面より選択し再開することができます。 >>>>>>> P.76 参照	_	0
ファイル選択	各種添付書類をPDF または画像形式のファイルで登録することができます。)>>>> P.78 参照	_	0
(IBANから銀行情報取得)	お受取人口座を IBAN コードで指定した場合、送金先銀行の BIC (SWIFT) コードや銀行名・住所を自動で入力することができます。	_	0
BICから銀行情報取得	送金先銀行や経由銀行を BIC (SWIFT) コードで指定した場合、銀行 名や住所を自動で入力することができます。 >>>>> P.88 参照	_	0
春 印刷	お客さまのお申込内容(申込書)などを PDF 形式ファイルで印刷できます。 >>>>> P.91 参照	0	_
▶ ファイル取得	お客さまのお申込内容(申込書)などをファイルで取得できます。 >>>>> P.92 参照	0	_
to l	カレンダーが表示されますので、この中から日付を選択することができます。	0	_
	マウス操作による入力を行うことでキーボード入力情報の不正記録 (キーロガー)を防ぐことができます。 >>>>> P.5 参照	0	
罐択	チェックすると一覧のすべての取引を選択し、チェックを外すとすべて の選択を解除します。	0	_
全選択(全解除)	ユーザへの外為権限設定時、同一カテゴリ内の全ての権限チェックを一括で設定または解除することができます。	0	_

7.3 操作の流れ

「取引を依頼する」機能と「取引状況や計算書などを照会する」機能があります。 取引を依頼する場合、承認パターンにより操作の流れが異なりますのでご注意ください



y₹

▶承認:弊行へのお取引の申込みにあたり、お客さま社内の承認者(承認権限をもつユーザ)が事前にお申込内容を再鑑・承諾することです。

承認には以下のパターンがあり、お客さま社内に適用する承認パターンを業務ごとに選択することができます。

>>>>> P.65 参照

・承認なし : 承認を行うことなく、直接お申込みいただけます。・シングル承認 : お申込みにあたり、承認者 1 名の承認が必要です。・ダブル承認 : お申込みにあたり、承認者 2 名の承認が必要です。

▶引戻し: 承認前の取引を依頼者自身が取下げることです。>>>>> P.51 参照

▶差戻し: 承認不可となった取引を依頼者に差し戻すことです。 >>>> P.55 参照

▶返却 : 弊行でお取扱いできない取引をお客さまに返却することです。



しみず外為 WEB サービスご利用時の注意事項

しみず外為WEBサービスの各サービスご利用にあたっては、下記の事項についてご注意ください。

●仕向送金サービス

- ■諸般の事情によりお客さまの指定日当日にSWIFT 発信ができない場合がございます。
- ■送金資金は送金指定日当日にお支払口座から引き落とします。残高不足などにより引き落としができなかった場合、送金をお取り扱いできませんのでご注意ください。



弊行からの重要なお知らせ

「外国為替及び外国貿易法」に基づき、金融機関には制裁措置(対北朝鮮、対イラン等)に対する確認義務が課せられております。つきましては、しみず外為WEBサービスをご利用いただく際には、下記の事項についてご確認ください。

なお、承諾事項は法令の改正等により、変更になることがあります。

※しみず外為 WEB サービスご利用にあたっては、以下の「承諾事項」をご確認ください。 ※弊行は、お客さまが「承諾事項」の内容に事前に同意いただけたものとみなします。

【承諾事項】

●仕向送金サービスをご利用のお客さまへ

- ■現金・直近で現金入金した口座からの出金による外国送金の受付を停止させていただいております。
- ■経済制裁関連規制(外為法、米国 OFAC 規制等)に違反する取引はお断りさせていただいております。
- ■送金目的欄には具体的な理由を英語にて入力いただくとともに、輸入または仲介貿易取引の代金決済の場合は、「詳細な商品名」をご入力ください。
- ■貿易・貿易外にかかわらずご依頼いただくすべての仕向送金について、外国為替及び外国貿易法(北朝鮮 関連規制、イラン関連規制、ロシア関連規制)」、「米国〇FAC規制」等の各種規制に抵触しないこと をご申告いただきます。
- ■輸入および仲介貿易取引の決済代金に係る仕向送金においては、弊行にて原産地および船積地の確認をさせていただきます。大変お手数ですが、「原産地証明書」「売買契約書」「インボイス」「船荷証券」等、原産地および船積地が確認できる資料を送金依頼書に添付してください。

 ご不明な点については、お取引店までご連絡ください。
- ■以下の(1)・(2)・(3)のいずれかに該当する場合につきましては、北朝鮮関連のお取引ではない ことを確認させていただきます。
 - (1) 商品が以下の4品目に該当する場合

刘象品目				
あさり	うに	サルトリイバラの葉	まつたけ	

(2) 商品が以下の12品目に該当し、原産地・積荷地等が北朝鮮の近隣国(中国・韓国・ロシア) に該当する場合(船積地とは国名ではなく船積地の属する都市名を指します)

刘家品目					
赤貝	あわび	うにの調整品	えび		
かれい	けがに	しじみ	ずわいがに		
たこ	なまこの調整品	はまぐり	ひらめ		

(3) 商品の品目にかかわらず、受取人名・受取人住所・受取人取引銀行等に以下の北朝鮮隣接の都市名、省名が含まれる場合

丹東(Dandong)	東港(Donggang)	延吉(Yanji)	琿春(Hunchun)		
遼寧省(Liaoning)	吉林省(Jilin)	黒竜江省(Heilongjiang)			

■「送金理由」欄に具体的な理由が入力されてない場合や、輸入または仲介貿易の場合で「具体的な商品名」 の入力がない場合、「原産地および船積地」等が北朝鮮ではないと確認できない場合など、取引の妥当性 や各種規制に抵触しないことが確認できない送金の申込は受付できません。

- ■中国人民元建ての仕向送金取引については下記の点にご留意ください。
- (1) ご依頼人様は法人に限ります。(個人・個人事業主の方はご利用いただけません。)
- (2)受取人が海外と人民元建決済を行うための中国人民銀行が所管するシステムに情報登録を行っており、 受取人が送金資金を人民元で受領可能な企業であることは、ご依頼人様自身で確認していただきます。
- (3) 送金目的が貿易取引の資金決済の場合は輸出入経営資格を有し、重点監督管理企業リストから除外されている企業に限ります。
- (4) 弊行からの発信は送金指定日の翌営業日以降となります。
- (5) 送金目的は実需に基づいた貿易・貿易外取引や資本取引になります。ただし、資本取引は個別に中国 当局の認可が必要になります。
- (6) 確認手続等で、受取銀行ごとに現地での確認手続が異なるため、受取人が資金を受領するまでに相当の日数を要する場合や取扱不可となる場合がございます。
- (7) 送金依頼後のお取消は原則できません。
- (8) 適用相場は弊行公示相場を適用します。(公示相場は市場相場が大きく変動した場合、予告なく変更されることがあります)
- (9) 人民元建送金にはその送金の裏づけとなる取引の内容等を証明する書類の提出が必要になる場合があります。
 - 内容について十分に確認ができないと弊行が判断した場合は、取引をお断りする場合がございます。
- (10) 中国側の制度の変更等により、資金が返却になる場合がございます。その場合に発生する為替リスクや追加手数料は、ご依頼人様の負担になります。
- ■その他、外国送金の取扱いについて承諾いただきたい事項についての詳細な内容は、お取引店にお問い合わせください。

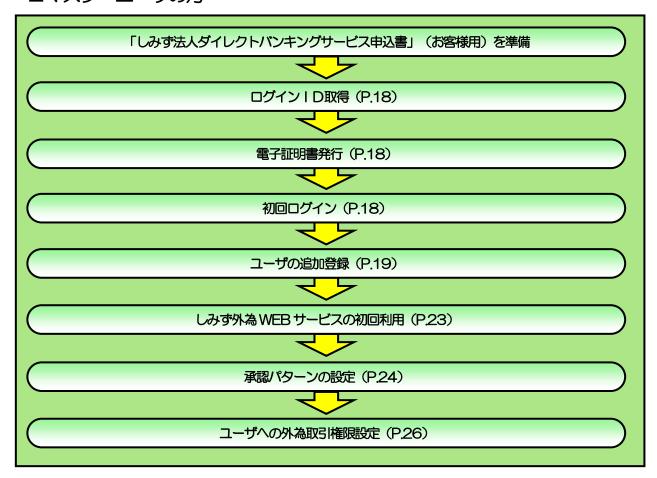
2. ご利用開始までの流れ



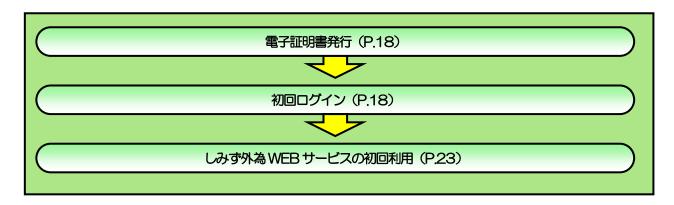
ご利用開始登録の流れ

しみず外為WEBサービスをご利用いただくために、ログインID取得、承認パターンの設定などをお手続きいただきます。しみず法人ダイレクトバンキングサービスを既にご利用のお客さまは「ユーザの追加登録」から始めてください。>>>> P.19 参照

■マスターユーザの方



■管理者ユーザ・一般ユーザの方



2 ご利用開始登録

2.1 ログインID取得 ※しみず法人ダイレクトを新規申込されたお客さま

マスターユーザが初回ご利用の際は、ログインID取得を行ってください。 「しみず法人ダイレクト オンラインマニュアル」の「初期設定(マスターユーザの場合)―ログイン ID の取得」をご確認ください。

https://www.shimizubank.co.jp/corporate/rationalization/direct/manual/bsl0101.html

2.2 電子証明書発行 ※しみず法人ダイレクトを新規申込されたお客さま

初めてご利用の方は、電子証明書の発行を行ってください。

「しみず法人ダイレクト オンラインマニュアル」の「初期設定(マスターユーザの場合)もしくは 初期 設定(管理者ユーザ・一般ユーザの場合)一電子証明書発行」をご確認ください。 (マスターユーザ)

https://www.shimizubank.co.jp/corporate/rationalization/direct/manual/bsl0102.html (管理者ユーザ・一般ユーザ)

https://www.shimizubank.co.jp/corporate/rationalization/direct/manual/bsl0102_2.html

2.3 初回ログイン ※しみず法人ダイレクトを新規申込されたお客さま

「しみず法人ダイレクト オンラインマニュアル」の「初期設定(マスターユーザの場合)もしくは 初期 設定(管理者ユーザ・一般ユーザの場合)一初回ログイン」をご確認ください。 (マスターユーザ)

https://www.shimizubank.co.jp/corporate/rationalization/direct/manual/bsl0103.html (管理者ユーザ・一般ユーザ)

https://www.shimizubank.co.ip/corporate/rationalization/direct/manual/bsi0103 2.html

2.4 ユーザの追加登録

マスターユーザの方以外がしみず外為 WEB サービスをご利用される場合、ユーザの追加登録を行ってください。

ユーザの追加登録を行わない場合は、「しみず外為 WEB サービスの初回利用」の操作手順へお進みください。>>>> P23 参照

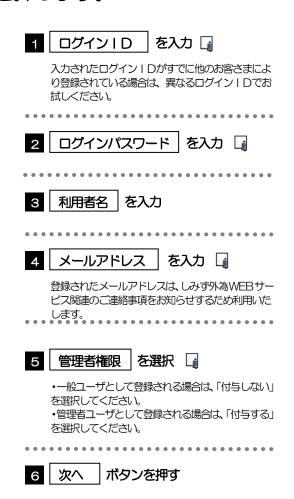
- 2.4.1 しみず法人ダイレクトバンキングサービストップページにて、 [管理] > [利用者管理] > [利用者情報の管理] を選択します。
- 2.4.2 利用者一覧画面を表示して、[新規登録]を押します。



1 新規登録 ボタンを押す

2.4.3 利用者基本情報を入力し、[次へ]を押します。





∡¥€

- ightharpoonup 1 \sim 2、4 は、確認のために2ヶ所に同じものを入力してください。
- ▶一般ユーザと管理者ユーザに設定できる外為取引権限については、P.27 をご参照ください。

2.4.4 しみず外為 WEB サービスの利用権限を付与し、[次へ]を押します。



1 しみず外為 WEB サービスの登録内容欄 の □ 連携 にチェック <u>↑</u>

2 次へ ボタンを押す



▶しみず外為WEBサービス利用権限が付与されていないユーザは、しみず外為WEBサービスをご利用いただけません。

I ★モ

▶各ユーザの違いにつきましては、下記の内容をご参照ください。

No.	ユーザ種名称		7 持法内疚	ユーザ数		**************************************
	しみず法人ダイレクト	しみず外為WEBサービス	ユーザ種内容		ーリ数	権限の付与
1	マスターユーザ	管理者ユーザ	全権限を保有するユーザ	1	合計 20	サービス申込時に当行より付与
2	管理者ユーザ		各種管理権限、および取引権限			他の管理者ユーザより権限を付与さ
_	日注日ユーグ		を保有可能なユーザ			れる。
3	一般ユーザ	一般ユーザ	取ら権限のみ保有可能なユーザ		20	管理者ユーザより権限を付与される。

2.4.5 利用者登録[口座]画面を表示して、[登録]を押します。



1 登録 ボタンを押す

2.4.6 登録情報を確認し、[実行]を押します。



1 確認用パスワード を入力2 実行 ボタンを押す

2.4.7 ユーザ登録の完了です。



次の操作手順へ進まれる場合

1 ホームへ ボタンを押す

「しみず外為 WEB サービスの初回利用」の操作手順へお進みください。 **>>>> P23 参照**

続けてユーザ登録を行う場合

2 利用者一覧へ ボタンを押す

2.5 しみず外為WEBサービスの初回利用

2.5.1 しみず法人ダイレクトバンキングサービストップページにて、 [しみず外為 WEB サービスへ] を選択します。

₩

▶ 「しみず外為 WEB サービスへ」ボタンを押下した際、「認証状態が変更されました。再度ログインしてください。」と表示されることがあります。その場合は、おそれいりますが、再度ログインをやりなおしてください。(>>>> P.30 参照)

2.5.2 しみず外為 WEB サービスのトップ画面が表示されます。



マスターユーザの方

「企業情報(承認パターン)の設定」の操作手順へお進みください。 >>>> P24 参照

2.6 企業情報(承認パターン)の設定

しみず外為 WEB サービスのご利用にあたり、お客さま社内の承認パターンの設定を行ってください。

- 2.6.1 しみず外為 WEB サービストップページにて、 [各種管理] > [企業情報] > [照会・変更] を選択します。
- 2.6.2 企業情報を設定し、 [内容確認] を押します。



1 承認パターン を入力する 業務ごとに「承認なし」/「シングル承認」/「ダ ブル承認」を選択することが可能です。

y₹

▶承認パターンによってお取引の申込みまでの操作が異なります。>>>>> P.9 参照

承認パターン	説明
承認なし	お取引の申込みにあたり、お客さま社内での事前承認を不要とするパターンです。 依頼データ作成者が依頼操作を行った時点で弊行へのお申込みが完了します。
シングル承認	お客さま社内で事前の承認を経たうえでお取引の申込みを行うパターンです。 依頼データ作成者が承認者 1 名を指定して依頼操作を行ったのち、承認者が承認操作を 行った時点で弊行へのお申込みが完了します。
ダブル承認	お客さま社内で2段階の承認(一次承認→最終承認)を経たうえでお取引の申込みを行う パターンです。 依頼データ作成者が2名の承認者(一次承認者・最終承認者)を指定して依頼操作を 行ったのち、一次承認→最終承認操作が行われた時点で弊行へのお申込みが完了します。

2.6.3 設定内容を確認し、 [実行] を押します。



1 実行 ボタンを押す

2.6.4 企業情報の設定が完了です。



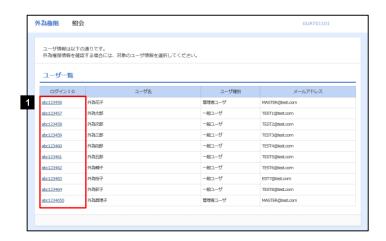
1 「ユーザへの外為取引権限設定」の操作 手順へお進みください。 >>>> P26 参照

2.7 ユーザへの外為取引権限設定

しみず外為 WEB サービスのご利用にあたり、ユーザへの外為取引権限の設定を行ってください。 ユーザの追加登録 (>>>> P.19 参照)を行われていない場合は、以上で「ご利用開始登録」は完了となります。

※マスターユーザには、初めてしみず外為 WEB サービスを利用する際にすべての外為取引権限が自動的に設定されます。

- 2.7.1 メニューを表示して、[各種管理] > [外為権限] > [照会・変更] を選択します。
- 2.7.2 権限を付与するユーザの [ログイン ID] リンクを押します。





y₹

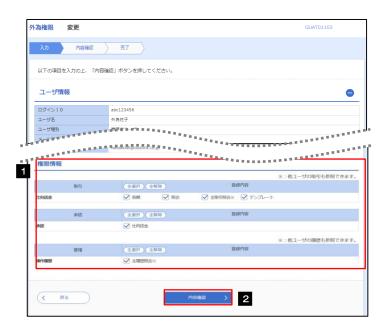
▶マスターユーザは、しみず外為WEBサービスでは「管理者ユーザ」として登録されます。

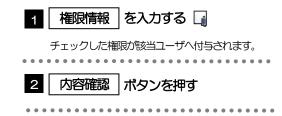
2.7.3 ユーザの情報を確認し、 [変更] を押します。

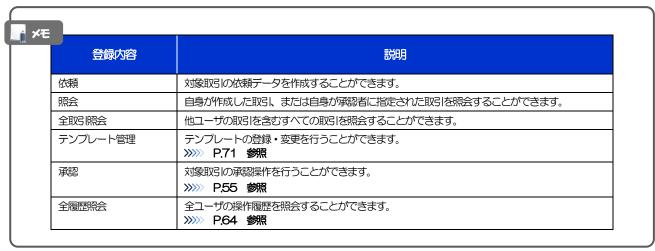


1 変更 ボタンを押す

2.7.4 権限情報を設定し、 [内容確認] を押します。







2.7.5 設定内容を確認し、 [実行] を押します。



1 実行 ボタンを押す

2.7.6 ユーザへの外為取引権限の設定が完了です。



続けてユーザへの外為取引権限設定を行う場合

1 ユーザ情報一覧へ ボタンを押す

3. ログイン

1 操作手順

1.1 ログイン

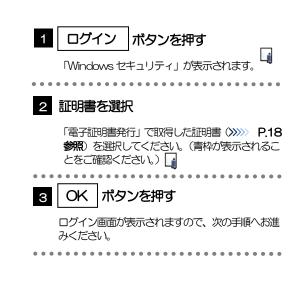
1.1.1 弊行のホームページを表示して、[ログイン]を押します。



1 しみず外為 WEB サービスログイン ボタンを押す

1.1.2 ログイン画面を表示して、ログインします。





I ★モ

- >Windows のバージョンにより、「Windows セキュリティ」の内容が異なりますが、操作方法は同じです。
- ▶証明書が表示されない場合、有効期限(発行後 1 年間)が切れた可能性があります。この場合は再度「電子証明書発行」を行って、新たに証明書を取得してください。>>>>> P.18 参照





マウス操作による入力を行うことでキーボード入力情報の不正記録(キーロガー)を防ぐことができます。

1.1.3 ログイン画面を表示して、 [ログイン] を押します。





「Windows セキュリティ」が表示されますので、「OK」ボタンを押してください。

2 ログイン ボタンを押す

トップページが表示されます。 >>>>> P.31 参照

y₹

- ▶ログインを行った際、「証明書更新選択」画面が表示されることがあります。 画面が表示された場合は、「証明書発行アプリの起動」ボタンを押して、電子証明書を更新してください。
- ▶ログインを行った際、「ログイン時お知らせ」画面が表示されることがあります。 画面が表示された場合は、お知らせ内容をご確認のうえ「次へ」ボタンを押してください。
- ▶ログインを行った際、「パスワード強制変更」画面が表示されることがあります。 画面が表示された場合は、P.96 をご参照ください。
- ▶ログインを行った際、「メールアドレス確認」または「メールアドレス訂正」画面が表示されることがあります。 画面が表示された場合、一般ユーザの方はマスターユーザまたは管理者ユーザにメールアドレスの変更を依頼してください。 (マスタ――ユーザ/管理者ユーザの方はご自身で変更可能です。)>>>> P.エラー! ブックマークが定義されていません。 参照)

1.1.4 しみず外為 WEB サービスのトップ画面が表示されます。





▶しみず法人ダイレクトバンキングサービストップページから「しみず外為WEBサービスへ」ボタンを押下した際、「認証 状態が変更されました。再度ログインしてください。」と表示されることがあります。その場合は、おそれいりますが、 再度ログインをやりなおしてください。

2

外為トップ画面

しみず外為WEBサービスのトップ画面であり、この画面から各種外為サービスメニューを選択します。 また、弊行からのお知らせなどを掲載しておりますのでご確認ください。

••••••	
⑤ ▶ 仕向送金	仕向送金サービスが利用できます。>>>>> P.36 参照
• • • • • • • • • • • • • •	••••••
承認	弊行へのお取引の申込みを承認または差戻しすることができます。 >>>>> P.53 参照
各種管理	企業情報やユーザの外為権限などの各種設定を行うことができます。 >>>> P.62 参照



外為取引を終了する場合

1 外為取引を終了 ボタンを押す

しみず法人ダイレクトバンキングサービスのトップページに戻ります。

ログアウトする場合

2 ログアウト ボタンを押す

しみず外為WEBサービスを終了し、しみず法人ダイレクトバンキングサービスからログアウトします。

3 ご利用になる業務のメニュータブを押す >>>> P.33 参照

⚠ 注意

▶ブラウザの戻るボタンはご利用にならないでください。



▶ヘッダ(画面右上)の「ご利用履歴」リンクを押すと、ご自身がしみず外為WEBサービスにログインした日時(過去3件)が表示されます。



▶ヘッダ(画面右上)のユーザ名リンクを押すと、ご自身のユーザ情報が表示されます。



- ▶「株式会社しみず銀行からのお知らせ」には、弊行からのお知らせやご連絡事項などを表示します。
- ▶「作成中のお取引」には、ご自身が一時保存した取引や、承認者より差戻しされた取引の件数を業務ごとに一覧表示します。
- ▶「承認待ちのお取引」には、ご自身が承認者に指定された取引の件数を業務ごとに一覧表示します。
- - 作成中取引一覧
 - ・承認待ち取引一覧
 - 取引確認一覧

4. 仕向送金

1 概要

海外への送金依頼やご依頼内容・取引状況の照会などを行うことができます。

送金依頼[画面入力]

新規の取引を1件ごと個別に依頼できます。»»» P.38 参照 依頼した取引はテンプレートとして登録することができます。 利用頻度の高い取引はテンプレート登録しておくと便利です。

>>>>> P.72 参照

テンプレート登録した依頼内容は、次回以降の依頼時に読み込むことで、入力の手間を省くことができます。 >>>> P.73 参照

作成中取引の修正・削除

お客さま社内で作成途中の状態となっている取引や弊行が返却(差 戻し)を行った取引について修正・再依頼、または削除することが できます。

修正・削除できるのは、取引の作成者ご自身のみです。

>>>>> P.46 参照

取引照会

ご自身が作成した取引、またはご自身が承認者に指定された取引を 照会することができます。

「全取引照会」の取引権限を保有するユーザは、他ユーザ作成分を 含むすべての取引を照会できます。

ご依頼内容や取引状況を確認することができます。

>>>>> P.48 参照

承認待ち取引の引戻し

ご自身が承認依頼を行った取引について、引戻し(取下げ)を行うことができます。 >>>> P.5.1 参照

引戻しを行った取引は「作成中取引の修正・削除」から、修正・再依頼、または削除することができます。 >>>> P.46 参照

テンプレートの登録

定期的な取引の依頼内容をテンプレート(雛型)として事前に登録することができます。

登録したテンプレートは依頼画面で呼び出すことで、入力の手間を 省くことができます。

テンプレートの照会・修正・削除

テンプレートは、修正・削除を行うこともできます。

2 操作手順

2.1 送金依頼(画面入力)

- 2.1.1 メニューを表示して、 [仕向送金] > [仕向送金] > [送 金依頼[画面入力]] を選択します。
- 2.1.2 依頼内容を入力し、 [内容確認] を押します。



1 基本情報 を入力する

送金指定日、お客様整理番号、送金種類を入力してください。

※送金指定日は、1ヶ月先までの日付(金融機関営業日)が指定可能です。



⚠ 注意

▶送金指定日に日本の休日を指定することはできません。海外の休日を指定した場合には依頼時に注意メッセージが表示されますので、あらためて送金指定日をご確認ください。(そのまま依頼を続行することも可能です。)



▶ 1 (カレンダーボタン)を押すと、日本の休日と海外の休日が表示されます。



▶入力欄の背景色は以下のとおりです。

背景色	内容	説明
オレンジ	必須入力	必ず入力してください。(入力後は白色表示となります。)
灰色	入力不可	入力できません。
É	任意入力	必要に応じて入力してください。
赤	エラー	入力エラー時に該当項目の背景色が赤色反転します。

- ▶各入力欄には入力見本がグレー表示されていますので参考にしてください。(入力すると表示は消えますが、入力しなかった場合は再び表示された状態に戻ります。)
- ▶住所欄の各項目は、国ごとに入力要否が異なります。「国名」を選択すると各入力欄の背景色(必須/不可)が変わりますので、これに従って入力してください。(以下、「受取人」などについてもすべて同様です。)



真の送金依頼人を指定する場合

3 真の送金依頼人 を入力する 🗐

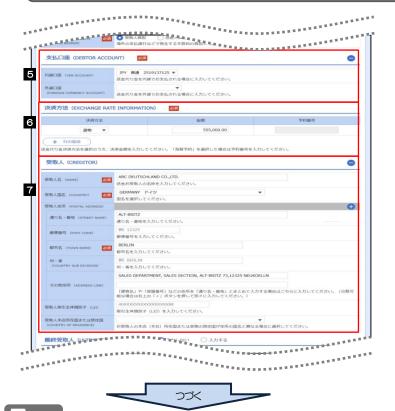
代理送金など、送金人名義と異なる第三者等が真の送金依頼人となる場合に入力してください。 ※存在しない場合は入力不要です。

4 送金金額 を入力する 🗐

送金通貨、送金金額を入力してください。

⁴ ⊁€

▶「真の送金依頼人」欄が表示された場合*、初期状態では「入力しない」(入力欄が閉じた状態)となっているため、入力する場合は「入力する」を選択して入力欄を表示してください。(真の送金依頼人が存在する場合は必ず入力してください。) ※お客さまによっては表示されませんので、その場合は入力不要です。(そのまま操作を続けてください。)



5 支払口座 を入力する

送金代り金の引落口座を指定してください。

6 決済方法 を入力する

送金代り金の決済方法、金額、予約番号を入力してください。

※分割決済を行う場合は、「行の追加」ボタンを押すと2行目以降の入力欄が表示されます。

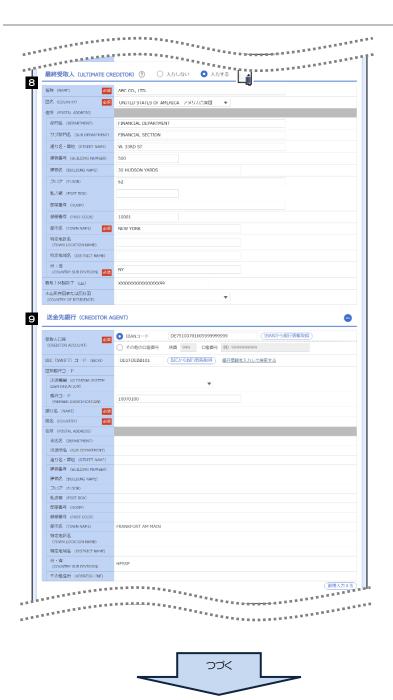
7 受取人 を入力する

お受取人の氏名(企業名)、国名、住所などを入力してください。

ı́ ⊁E

- ▶分割決済を行う場合は、金額欄の合計が送金金額と同額になるよう入力してください。(入力欄は先頭行から順に詰めて入力してください。)
- ▶受取人住所は「その他住所」欄にまとめて入力することも可能です。但し、その場合も「都市名」と「州・省」(必須国の場合)はそれぞれの欄に入力し、「その他住所」欄には入力(重複)しないでください。
 また、住所欄右横の「十」ボタンを押すと画面に表示されていない項目についても入力が可能となります(入力欄が開き
- ▶「その他住所」欄に入力する場合は、住所項目全体の桁数が「105 桁以内」となるよう入力してください。(「105 桁」には各住所項目間の区切り相当 1 桁分を含みます。また、「国名」は 2 桁としてカウントします。)

ます)ので、分割入力が可能な場合はそれぞれの欄に入力してください。(以下、「送金先銀行」についても同様です。)



最終受取人を指定する場合

8 最終受取人 を入力する 🗐

お受取人と異なる第三者等が最終受取人となる場合 に入力してください。(存在しない場合は入力不要です。)

9 送金先銀行を入力する

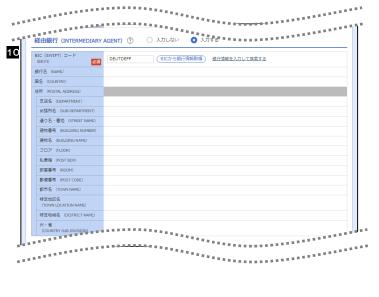
受取人口座のIBANコード、または送金先銀行のBIC(SWIFT)コードを入力して「銀行情報取得」ボタンを押すと、銀行名や住所が画面に自動反映されますので()) P82 参照)、表示された内容をご確認ください。

y₹

- ▶「最終受取人」欄が表示された場合*、初期状態では「入力しない」(入力欄が閉じた状態)となっているため、入力する場合は「入力する」を選択して入力欄を表示してください。(最終受取人が存在する場合は必ず入力してください。)
 - ※お客さまによっては表示されませんので、その場合は入力不要です。(そのまま操作を続けてください。)
- ▶IBAN採用国の場合、受取人口座は必ず「IBAN コード」で指定してください。
 - IBAN採用国以外の場合は「その他の口座番号」に入力してください。(国内向け送金の場合は「店番」も必須です。)
 - ※BAN コード(International Bank Account Number)とは、口座保有金融機関の所在国、銀行名、支店名、および口座番号を特定するための国際標準です。
- ▶送金先銀行は原則「BIC (SWIFT) コード」で指定してください。
 - 11 桁で入力する場合、末尾 3 桁に「XXX」は指定できませんので、この場合は「XXX」を除く 8 桁で入力してください。 (末尾が「XXX」でない場合は 11 桁で入力可能です。)
- ※BIC コード(Bank Identifier Code)とは、銀行間通信網(SWIFT)において金融機関を特定するための国際標準です。
- ▶「都市名」以降の住所を「その他住所」欄に入力する場合は、住所全体の桁数が「105 桁以内」となるよう入力してください。(「105 桁」には各項目間の区切り文字相当 1 桁分を含みます。また、「国名」は 2 桁としてカウントします。)
- ▶「国別銀行コード」は、送金内容により必要となる場合に「BIC(SWIFT)コード」と併せて入力してください。(米国 ABA や中国 CNAPS などの各国決済機関をリストから選択いただけます。)

⚠ 注意

- ➤「銀行情報取得」ボタン押しても取得されない場合や、想定と異なる金融機関が取得された場合は、「IBAN コード」または 「BIC(SWIFT) コード」の入力内容を再度ご確認ください。(または、「銀行情報を入力して検索する」のリンクを押すと検索 画面が表示されますので、そちらから検索することも可能です。)
- ▶SWIFT 非加盟の金融機関を指定される場合は、送金先銀行欄右下の「直接入力する」ボタンを押して直接入力してください。 (「銀行情報取得」ボタンや「銀行情報を入力して検索する」リンクは SWIFT 非加盟の金融機関には対応していません。)



経由銀行を指定する場合

10 経由銀行 を入力する 词

経由銀行のBIC(SWFT)コードを入力して「銀行情報取得」ボタンを押すと、銀行名や住所が画面に自動反映されますので()) P.82 参照)、表示された内容をご確認ください。

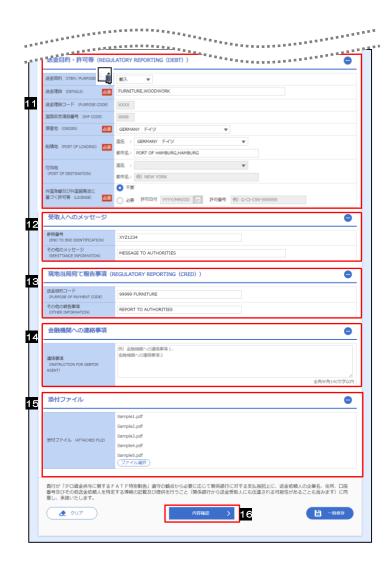


<u>_</u> ⊁モ

- ▶「経由銀行」は、初期状態では「入力しない」(入力欄が閉じた状態)となっているため、入力する場合は「入力する」を 選択して入力欄を表示してください。
- ▶経由銀行を指定される場合は、「BIC (SWIFT) コード」が必須となりますので必ず入力してください。(SWIFT 非加盟の金融機関は指定できません。「国別銀行コード」による指定もできません。)
- ▶「BIC (SWIFT) コード」を11桁で指定する場合、末尾3桁に「XXX」は指定できません。

⚠ 注意

- ▶「銀行情報取得」ボタンを押しても取得されない場合や、想定と異なる金融機関が取得された場合は、「BIC(SWIFT)コード」の入力内容を再度ご確認ください。
- ▶経由銀行は送金先銀行と異なり「直接入力」はできません。(「銀行情報取得」ボタンまたは「銀行情報を入力して検索する」 リンクから、必ずSWIFT 加盟の金融機関を指定していただきます。)
 - ご希望の経由銀行が指定できない場合は、お手数ですが清水銀行外為ヘルプデスクまでご連絡ください。



11 送金目的・許可等 を入力する □

送金目的、送金理由、送金理由コード、国際収支項目番号、原産地、船積地、仕向地、外国為替及び外国貿易法に基づく許可等を入力してください。

12 受取人へのメッセージ を入力する

お受取人に通知する参照番号(取引識別番号など)やその他のメッセージを入力してください。

13 現地当局宛報告事項 を入力する

送金先国により必要とされる場合、現地当局等が定める送金目的コードやその他必要事項を入力してください。

14 金融機関への連絡事項 を入力する

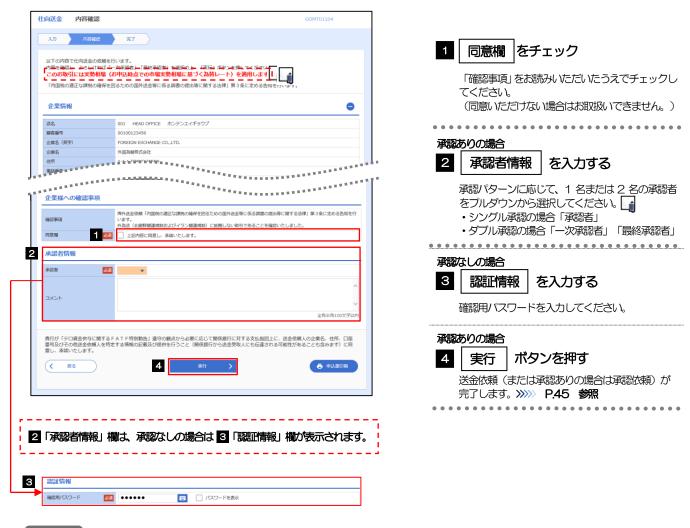
弊行への連絡事項がある場合に入力してください。

15 添付ファイル を登録する

お取引のお申込みにあたり、必要書類をファイルで 添付することができます。

16 内容確認 ボタンを入力する

2.1.3 依頼内容を確認し、 [実行] を押します。



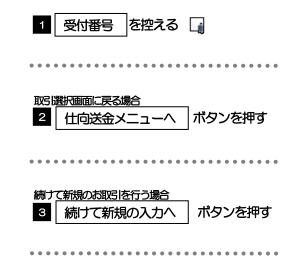
J ⊁€

- ▶ お客さまが設定した承認パターンに該当する操作をしてください。>>>> P.9 参照
- ▶「承認者」欄には、お客さま社内で承認権限を保有するユーザがプルダウンで表示されますので、この中から承認者を選択してください。
- ▶ダブル承認の場合、「一次承認者」と「最終承認者」に、同一の承認者は選択できません。

2.1.4 取引が実行されました。(送金依頼(画面入力)の完了)

承認ありの場合





⚠ 注意

- ▶このメッセージが表示された場合、該当のお取引はお客さま社内で承認待ちの状態となっており、弊行へのお申込はまだ完了しておりません。引き続き承認者にご連絡のうえ、承認操作()>>>> P.55 参照)を依頼してください。 (お客さまの承認パターンがシングル承認、またはダブル承認の場合、承認者による承認操作が必要となります。)
- ▶承認なしの場合は、この操作で弊行へのお申込みが完了します。(メッセージも表示されません。)

y∓

- ▶しみず外為WEBサービスでは、各種操作を行う際、受付番号を利用します。
- ▶依頼内容を修正する場合は「引戻し可能取引一覧」より引戻し(取下げ)のうえ、修正してください。>>>>> P.51 参照

2.2 作成中取引の修正・削除

2.2.1 メニューを表示して、 [仕向送金] > [仕向送金] > [作成中取引の修正・削除] を選択します。

2.2.2 作成中取引の一覧が表示されます。 4



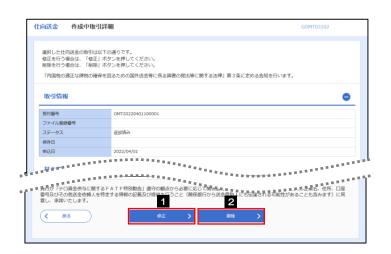
1 修正、または削除したい 受付番号 リンクを押す

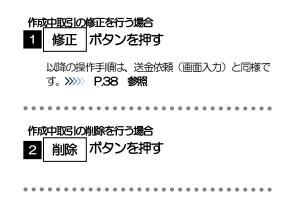
▶ご自身が作成した以下ステータスの取引について、修正・削除が可能です。

ステータス	説明
保存中	ご自身により一時保存した取引
引戻済み	ご自身が承認依頼後、引戻しした取引(承認前)
差戻済み	承認者より差戻しされた取引(メールでお知らせします)
返却済み	弊行により返却された取引(メールでお知らせします)

▶「外為トップ」画面「作成中のお取引」から直接遷移することも可能です。>>>>> P.33 参照

2.2.3 表示された内容を確認し[修正] または[削除] を押します。





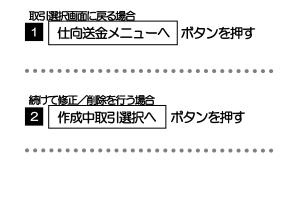
2.2.4 取引を削除する場合、 [実行] を押します。





2.2.5 取引が削除されました。





2.3 取引照会

- 2.3.1 メニューを表示して、 [仕向送金] > [仕向送金] > [取 引照会] を選択します。
- 2.3.2 検索条件を入力して、 [絞り込み] を押します。



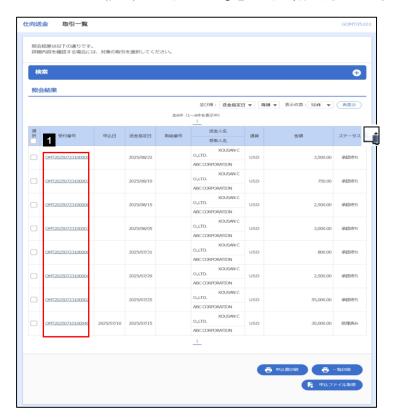
 1 検索条件を入力して
 絞りこみ

 を押す
 (4)

y∓

- ▶送金指定日が、1年前までの取引が照会できます。
- ▶最大 1,000 件までの取引が一覧表示されます。
- ▶「全取引照会」の取引権限を保有するユーザは、他ユーザ作成分を含むすべての取引を照会できます。
- ➤一時保存した取引は対象外とします。 照会する場合は「作成中取引の修正・削除」から照会してください。>>>> P.46 参照

2.3.3 検索結果の一覧より照会する対象を選択します。



依頼<u>内容を照会する場合</u>

1 受付番号 リンクを押す

「仕向送金 照会結果」画面を表示します。

>>>>> P.50 参照

₩¥E

▶一覧に表示するステータスは以下のとおりです。

ステータス	取引の状態
承認待ち	お客さま社内で、承認待ちとなっている状態
一次承認待ち	お客さま社内で、一次承認待ちとなっている状態
最終承認待ち	お客さま社内で、最終承認待ちとなっている状態
差戻済み	お客さま社内で、承認者が差戻しを行った状態
引戻済み	お客さま社内で、依頼者自身が引戻し(取下げ)を行った状態
返却済み	お取扱不可となり、弊行からお客さまに取引の返却(差戻し)を行った状態
申込済み	弊行へのお申込みが完了した状態
受付中	弊行でお取引を受け付けた状態
処理済み	弊行での処理が完了した状態

2.3.4 ご依頼内容が画面表示されます。



2.4 承認待ち取引の引戻し

- 2.4.1 メニューを表示して、 [仕向送金] > [仕向送金] > [承認待ち取引の引戻し]を選択します。
- 2.4.2 引戻し可能取引一覧画面を表示して、〔受付番号〕リンクを押します。



引戻しする取引の 受付番号 リンク を押す

y∓

▶以下ステータスの取引について、引戻しが可能です。

説明
シングル承認の場合に、承認待ちとなっている取引
ダブル承認の場合に、一次承認待ちとなっている取引
ダブル承認の場合に、最終承認待ちとなっている取引

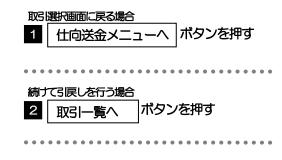
2.4.3 表示された内容を確認し、 [実行] を押します。



1 実行 ボタンを押す

2.4.4 引戻しの完了です。





y ≭€

▶引戻しした取引は、「作成中取引一覧」より、修正・再依頼、または削除を行うことができます。>>>> P.46 参照

5. 承認

1 概要

承認依頼者から、自身が承認者に指定された取引について、承認または差戻しすることができます。 また、一括承認機能により、複数の取引を一度に承認することも可能です。

2 操作手順

2.1 取引の承認/差戻し

2.1.1 メニューを表示して、 [承認] > [仕向送金] を選択します。

2.1.2 承認待ち取引一覧を表示します。 🖫



一覧の内容を絞り込みたい場合

1 条件を入力して 絞り込み ボタンを 押す 1

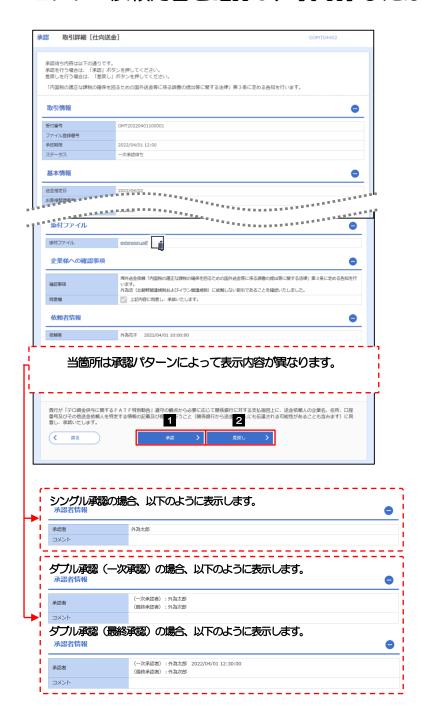
指定した条件すべてに該当するデータに絞り込みます。

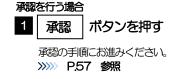
2 受付番号 リンクを押す

y∓

- ▶自身が承認者(ダブル承認の場合は一次承認者または最終承認者)に指定されている取引について表示します。
- ▶承認依頼があった際、メールでお知らせします。
 - 承認依頼者からの承認依頼時
 - ダブル承認の場合、一次承認者からの最終承認依頼時
- ▶「外為トップ」画面「承認待ちのお取引」から直接遷移することも可能です。>>>>> P.33 参照
- → 一括線 > 押下により、複数件の取引をまとめて承認することもできます。>>>> P.59 参照

2.1.3 依頼内容を確認し、[承認] または [差戻し] を押します。





差戻しを行う場合

2 差戻し ボタンを押す

差戻しの手順にお進みください。 >>>>> P.58 参照

• • • • • • • • • • • • • • • • •

Iii ⊁€

▶依頼者が登録した添付書類ファイルを照会できます。 >>>> P.80 参照

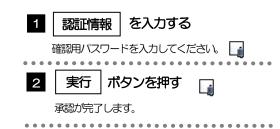
⚠ 注意

- ▶以下のような場合、「承認」ボタンを押すとエラーになりますので、「差戻し」ボタンを押して依頼者への差戻しを行ってください。>>>> P.58 参照
 - ✓承認時点で「受付時限」を超過していた場合
 - ✓依頼者が入力した「通貨」や「国名」が、承認時点で取扱不可などの状態になっていた場合

2.1.4 承認を行います。

(1) 依頼内容を確認し、 [実行] を押します。





(2) 承認の完了です。



業務選択画面に戻る場合 1 承認メニューへ ボタンを押す 続けて承認/差戻しを行う場合 2 承認取引一覧へ ボタンを押す

⚠ 注意

- ▶このメッセージが表示された場合、該当のお取引はお客さま社内で最終承認待ち(一次承認済み)の状態となっており、 弊行へのお申込はまだ完了しておりません。引き続き最終承認者にご連絡のうえ、承認操作(>>>> P.55 参照)を依頼してください。(お客さまの承認パターンがダブル承認で一次承認を行った場合、さらに最終承認者による最終承認が必要となります。)
- ▶シングル承認の場合、またはダブル承認で最終承認を行った場合は、この操作で弊行へのお申込みが完了します。(メッセージも表示されません。)

2.1.5 差戻しを行います。

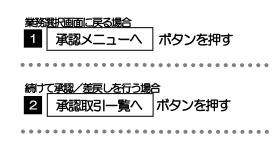
(1) 依頼内容を確認し、 [実行] を押します。



1 差戻しする依頼内容を確認し 実行 ボタンを押す

(2) 差戻しの完了です。



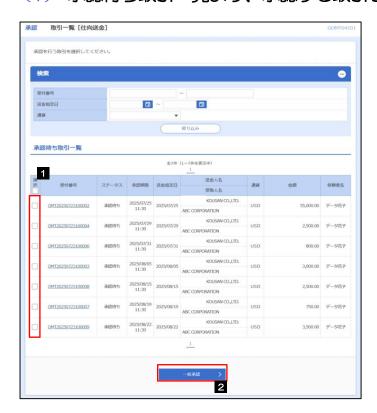


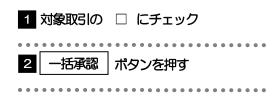


- ▶差戻しを行った場合は、承認パターンに関わらず承認依頼者に対して差戻しを行います。 (ダブル承認で最終承認者が差戻しを行った場合も、一次承認者ではなく、承認依頼者に差戻します。)
- ▶差戻しされた取引は「作成中取引一覧」より修正・再依頼、または削除することができます。>>>> P.46 参照

2.1.6 一括承認を行います。

(1) 承認待ち取引一覧より、承認する取引を選択します。



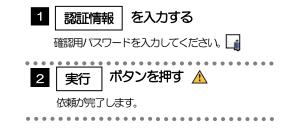


J ★モ

▶一括承認が可能な取引件数は最大50件(承認待ち取引一覧の1ページあたり最大表示件数)です。

(2) 一覧の取引内容を確認し、 [実行] を押します。



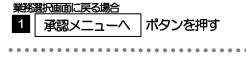


⚠ 注意

- ▶エラー取引一覧が表示されていた場合、このまま実行することもできますが、「エラー取引一覧」に表示された取引については承認されません。
 - エラー取引一覧に表示された取引については、差戻しを行ってください >>>> P.58 参照

(3) 一括承認の完了です。





続けて承認を行う場合2 承認取引一覧へボタンを押す

⚠ 注意

- ▶「く注意>ステータスが最終承認待ち~承認を行ってください。」のメッセージが表示された場合は、一括承認したお取引の中にお客さま社内で最終承認待ち(一次承認済み)の状態となっている取引が含まれています。該当取引は弊行へのお申込がまだ完了しておりませんので、「取引一覧」のステータス欄をご確認いただき、「最終承認待ち」となっている取引については引き続き最終承認者にご連絡のうえ、承認操作()>>>> P.55 参照)を依頼してください。(お客さまの承認パターンがダブル承認の場合、一次承認を行った取引についてはさらに最終承認者による最終承認が必要となります。)
- ▶シングル承認の場合、またはダブル承認で最終承認を行った取引の場合は、この操作で弊行へのお申込みが完了します。
- ▶「エラー取引一覧」に表示された取引については、差戻しを行ってください >>>> P.58 参照

6. 各種管理

1 概要

承認パターンの設定やユーザの外為権限の設定などを行うことができます。

操作履歴 照会 ご自身の操作履歴を照会することができます。 「全履歴照会」の権限を保有するユーザは、全ユーザの操作履歴を 照会することができます。

>>>> P.64 参照

企業情報 照会・変更 お客さま社内の承認パターンの設定を変更することができます。 >>>>>

お客さまの企業情報やご利用可能な取引メニューを照会することも

できます。

<u>外為権限 照会・変更</u> ユーザに設定された外為取引権限を変更することができます。

>>>> P.67 **参照** 新たに追加されたユーザへ外為取引権限の設定を行うこともできます。

63

2 操作手順

2.1 操作履歴照会

- 2.1.1 メニューを表示して、 [各種管理] > [操作履歴] > [照 会] を選択します。
- 2.1.2 操作履歴照会画面を表示して、 [絞り込み] を押します。

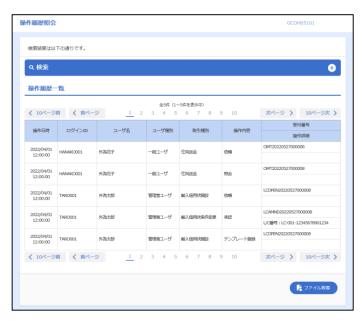


1 検索条件を入力して 絞り込み ボタンを押す

y₹

- ▶操作日が1年前までの操作履歴が照会できます。
- ▶「全履歴照会」の権限を保有するユーザは、全ユーザの操作履歴を照会することができます。
- ▶操作履歴は、最大3,000件まで表示されます。

2.1.3 検索結果の操作履歴が表示されます。



2.2 企業情報の照会・変更

2.2.1 メニューを表示して、 [各種管理] > [企業情報] > [照 会・変更] を選択します。

2.2.2 企業情報を変更し、 [内容確認] を押します。



1 承認パターン を入力する 🖫

業務ごとに「承認なし」/「シングル承認」/「ダブル承認」を選択することが可能です。

2 内容確認 ボタンを押す

<u></u>
<u></u>
<u></u>
<u></u>
★モ

▶承認パターンによってお取引の申込みまでの操作が異なります。(>>>>> P.9 参照)

承認パターン	説明
承認なし	お取引の申込みにあたり、お客さま社内での事前承認を不要とするパターンです。 依頼データ作成者が依頼操作を行った時点で弊行へのお申込みが完了します。
シングル承認	お客さま社内で事前の承認を経たうえでお取引の申込みを行うパターンです。 依頼データ作成者が承認者 1 名を指定して依頼操作を行ったのち、承認者が承認操作を 行った時点で弊行へのお申込みが完了します。
ダブル承認	お客さま社内で2段階の承認(一次承認→最終承認)を経たうえでお取引の申込みを行う パターンです。 依頼データ作成者が2名の承認者(一次承認者・最終承認者)を指定して依頼操作を 行ったのち、一次承認→最終承認操作が行われた時点で弊行へのお申込みが完了します。

▶「シングル承認」、または「ダブル承認」から承認パターンを変更する際、お客さま社内で承認が完了していない取引がある場合は、承認パターンの変更はできません。

下記いずれかの対応を行ってください。

・承認を完了させる

>>>>> P.54 参照

・承認依頼を取り下げる(引戻し) >>>> P.51 参照

2.2.3 変更内容を確認し、 [実行] を押します。



1 実行 ボタンを押す

2.2.4 企業情報の変更は完了です。

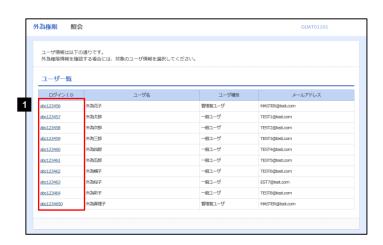


業務選択画面に戻る場合

1 各種管理メニューヘ ボタンを押す

2.3 外為権限の照会・変更

- 2.3.1 メニューを表示して、 [各種管理] > [外為権限] > [照 会・変更] を選択します。
- 2.3.2 権限を変更するユーザの [ログイン ID] リンクを押します。



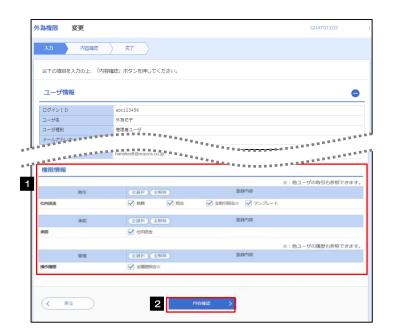
1 ログイン I D リンクを押す

2.3.3 ユーザの情報を確認し、 [変更] を押します。



1 変更 ボタンを押す

2.3.4 権限情報を変更し、 [内容確認] を押します。



 1
 権限情報
 を入力する

 チェックした
 ずへ付与されます。

 2
 内容確認
 ボタンを押す

I ⊁€

▶権限情報の登録内容欄をチェックした場合、以下の機能が利用できます。

登録内容	説明
依頼	対象取引の依頼データを作成することができます。
照会	自身が作成した取引、または自身が承認者に指定された取引を照会することができます。
全取引照会	他ユーザの取引を含むすべての取引を照会することができます。
テンプレート管理	テンプレートの登録・変更を行うことができます。>>>>> P.71 参照
承認	対象取引の承認操作を行うことができます。 >>>> P.53 参照

▶「企業情報の照会・変更」(>>>>> P.65)、および「外為権限の照会・変更」(本操作)は、管理者ユーザのみご利用可能です。(一般ユーザはご利用になれません。)

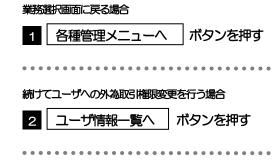
2.3.5 変更内容を確認し、 [実行] を押します。



1 実行 ボタンを押す

2.3.6 外為取引権限の変更は完了です。





7. 便利な機能

1 テンプレート機能

テンプレートとは同一受取人への仕向送金など、定型的な取引の依頼内容をテンプレート (雛型) として登録しておく機能です。

登録したテンプレートは次回以降の依頼画面で呼び出すことで、入力の手間を省くことができます。

/ ×E

- ▶テンプレートは、対象取引ごとに 1,000 件まで保存できます。 保存期限はありません。
- ▶取引選択画面の「テンプレートを登録」ボタン押下で、新規のテンプレートを登録することもできます。
- ▶取引選択画面の「テンプレートの照会・修正・削除」ボタン押下で表示された登録済みのテンプレートを修正・削除することもできます。

1.1 テンプレート保存

1.1.1 依頼結果画面(または修正結果画面、照会結果画面)で [テンプレート保存] ボタンを押します。



1 テンプレート保存 ボタンを押す

1.1.2 登録名称を指定して [実行] ボタンを押します。



1 テンプレート情報 を入力する
登録名称に任意のテンプレート名を入力してください。
2 実行 ボタンを押す

1.1.3 テンプレート保存の完了です。



・保存したテンプレートは、次回以降の取引で、仕向送金依頼の画面より呼び出すことができます。 (呼び出し方 >>>> P.73 参照)

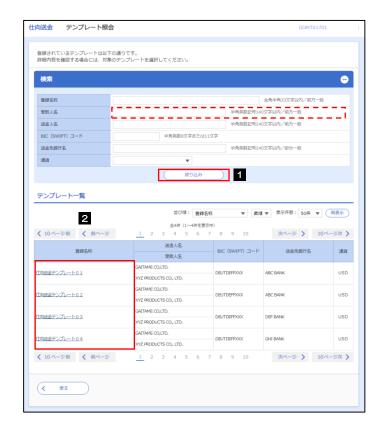
1.2 テンプレート読込

1.2.1 依頼画面で [テンプレート読込] ボタンを押します。



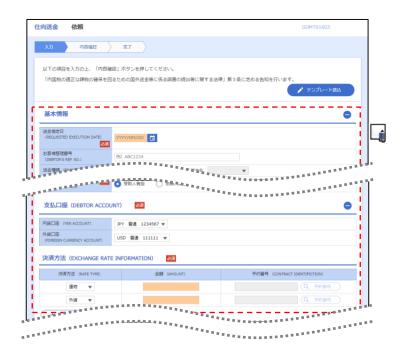
1 テンプレート読込 ボタンを押す

1.2.2 一覧より呼び出すテンプレートを選択します。



一覧の内容を絞り込みたい場合
 1 条件を入力して 絞り込み ボタンを 押す
 指定した条件すべてに該当するデータに絞り込みます。
 2 登録名称 リンクを押す

1.2.3 依頼画面にテンプレート内容が読み込まれました。



I ⊁€

▶日付や金額など、依頼の都度変更となる項目はテンプレート保存対象外となりますので、入力が必要です。 それ以外の項目については、テンプレートの内容が反映されます。



複写作成

「取引照会」で照会した内容を、複写/再利用したうえで、新しい依頼取引を作成することができます。

2.1 複写作成

2.1.1 照会結果画面で [複写作成] ボタンを押します。



1 複写作成 ボタンを押す

2.1.2 依頼画面に複写内容が読み込まれました。



ΧE

- ▶複写作成は、依頼権限が設定されたユーザのみご利用いただけます。(照会権限のみ設定されたユーザは、「複写作成」ボタンは表示されません。)必要に応じ、操作権限を変更してください。 >>>> P.67 参照
- ▶日付や金額など、依頼の都度変更となる項目は複写対象外となりますので、入力が必要です。 それ以外の項目については、複写した内容が反映されます。



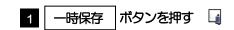
一時保存

お取引内容を入力中に作業を中断したい場合、入力途中の内容を保存することができます。作業を再開したい場合は、「作成中取引一覧」から一時保存した内容を呼び出すことができます。 (P.77 参照)

3.1 一時保存

3.1.1 依頼画面(または修正画面)で「一時保存」を押します。





₩

- ▶一時保存は、仕向送金の依頼画面、および修正画面でのみご利用いただけます。
- ※ファイル登録による一括依頼画面ではご利用いただけません。
- ▶依頼画面で一時保存した取引は、「作成中取引一覧」から呼び出したのち、修正画面から再度一時保存(上書き再保存)することができます。(再保存後も同様に、「作成中取引一覧」から呼び出したのち再び再保存することができます。)※ファイル登録による一括依頼取引についても、一括依頼後に引戻し/差戻し/返却となった個々の取引については「作成中取引一覧」からの呼出し→修正画面からの一時保存が可能です。)
- ▶1 ユーザにつき、25 件まで取引を保存できます。
- ▶一時保存された取引の保存期間は、保存した日から1年間です。
- ▶一時保存できない場合、画面の上側にメッセージが表示されますので、確認、および入力内容を修正してください。

3.1.2 一時保存の完了です。



1 受付番号 を控える 🗐

≝ ⊁€

▶作業を再開する際に、「作成中取引一覧」から保存した取引を選択するのに利用します。

3.2 作業の再開

3.2.1 メニューを表示して、 [仕向送金] > [仕向送金] > [作成中取引の修正・削除] を選択します。

3.2.2 作成中取引一覧画面を表示して、 [受付番号] リンクを押します。



1 一時保存した取引の 受付番号 リンクを押す

ý ×ŧ

- ▶一時保存した取引のステータスは、「保存中」です。
- ▶「作成中取引一覧」については、P.46をご参照ください。

3.2.3 一時保存した取引が呼び出されます。



呼び出した取引を修正する場合

1 修正 ボタンを押す

呼び出した取引を削除する場合

2 削除 ボタンを押す



添付ファイルの登録・照会

4.1 添付ファイルの登録

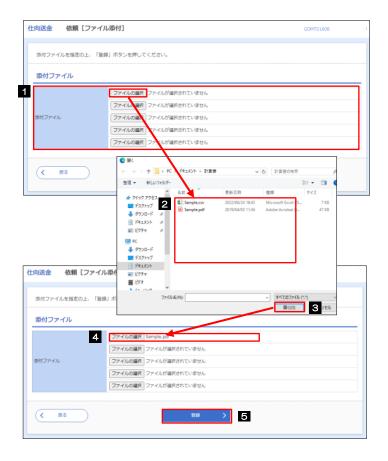
お取引の申込にあたり、必要書類をPDFまたは画像形式のファイルで添付することができます。

4.1.1 依頼画面を表示して、「ファイル選択」を押します。



1 ファイル選択 ボタンを押す

4.1.2 ファイルを指定し、 [登録] を押します。



1 添付ファイル を選択する
「ファイルの選択」ボタンを押すと、「開く」ウィンドウを表示します。

2 アップロードするファイルを選択
3 開く(O) ボタンを押す
「開く」ウィンドウか閉じます。

4 選択したファイル名を表示

5 登録 ボタンを押す

y₹

- ▶添付ファイルは、以下の形式が登録可能です。(但し、「HEIC」形式については、WindowsPCでは参照できない 形式のため、照会時に「JPEG」形式に変換します**1。)
 - ※1:HEIC形式とはiPhone (iOS) およびiPad (iPadOS) が採用する画像形式であり、Windows の標準機能ではサポートされないため、iPhone/iPad から撮影した画像が添付された場合は、汎用的な画像形式 (JPEG) に変換します。

ファイル形式	拡張子	備考
PDF	.pdf	
JPEG	.jpg	拡張子は「jpg」「jpeg」のいすれも可能です。
UFLG	.jpeg	TIDEL I JOEL VOVI 1941 COURL C 9 .
PNG	.png	
GIF	.gif	
HEIC	,HEIC	照会時(ダウンロード時)に「JPEG」形式(jpg)に変換します。

- ▶最大5ファイルまで添付可能です。
- ▶ファイル名は50 桁以内(拡張子込み)、ファイルサイズはいずれも5MB以内としてください。
- ▶既に添付ファイルが登録されている場合は、「削除」ボタンが表示されますので、必要に応じて削除してください。
- ▶添付ファイルを差し替えしたい場合は、添付ファイルを削除したのち、再度登録をしてください。

4.1.3 添付ファイルが登録されました。





▶取引への添付ファイルの登録が完了したら、入力を続行してください。

4.2 添付ファイルの照会

作成中のお取引やお申込いただいたお取引にお客さまご自身が登録された添付ファイル、および弊行がお客さま宛ての通知・ご連絡事項に添付したファイルを照会することができます。 照会可能な添付ファイルは以下のとおりです。

サービス種類	ファイル作成 お客様 弊行		保存期限	備考
仕向送金	0	_	「送金指定日」の1ヶ月後応当日まで	

※1:保存期間を過ぎたファイルは、照会できません。(画面にはファイル名のみ表示され、リンクを押すことができません。)

y₹

▶「HEIC」形式で添付したファイルは、照会時に「JPEG」形式に変換されます。(ファイル名が「OO.HEIC」→「OO.HEIC」」 に変わります。) >>>>> P.79 参照

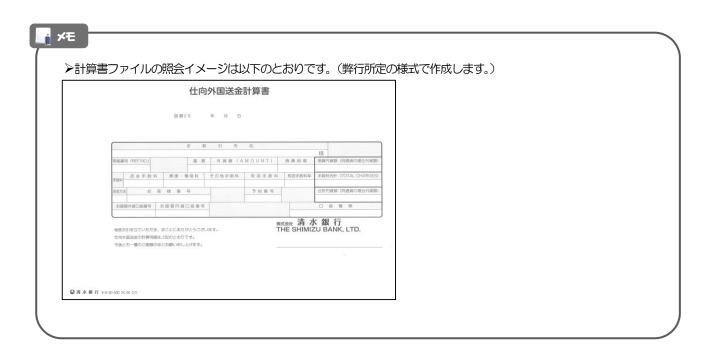


計算書ファイルの照会

お申込いただいたお取引に対して、弊行が作成した計算書を照会することができます。 照会可能な計算書ファイルは以下のとおりです。

サービス種類	ファイ お客様	ル作成 弊行	保存期限	備考
仕向送金	_	0	「送金指定日」の1ヶ月後応当日まで	

※1:保存期間を過ぎたファイルは、照会できません。(画面にはファイル名のみ表示され、リンクを押すことができません。)





銀行情報の取得・検索

入力した IBAN コードまたは BIC (SWIFT) コードから、銀行名などの銀行情報を取得することができます。 (BIC (SWIFT) コードや銀行名などを入力して検索することも可能です。) 取得した銀行情報は、画面の入力項目に自動で読み込まれます。

- ▶仕向送金依頼時に「送金先銀行」または「経由銀行」を入力する際にご利用いただけます。
 - 仕向送金依頼 [画面入力] >>>> P.38 参照
- ▶送金先銀行または経由銀行は、以下の方法で入力することができます。

	入力ケース 入力項目					入力対象					
入力方法	-BAZ採用国	SWーFT加盟英語機関	-B4ZΠ-"Ł	в−0 (<i>м</i> }−⊩⊢) П− ″	国別銀行コード	銀行名	都市名	国名・支店名など	送金光銀行	経由銀行	說明
(IBANから銀行情報取得)	0	Ο	•	0	Δ	0	0	0	0	×	IBAN 採用国への送金の場合、受取人口座のIBANコードを入力して取得ボタンを押すと、送金先銀行の BIC (SWIFT)コードや銀行名などが自動で入力されます。 ア84 参照
BICから銀行情報取得	×	0	Δ	•	Δ	0	0	0	0	0	IBAN 採用国以外への送金、または経由銀行を指定する場合、該当金融機関の BIC (SWIFT)コードを入力して取得ボタンを押すと、銀行名などが自動で入力されます。
銀行情報を入力して検索する											検索リンクを押して検索条件 を入力することも可能です。 >>>>> P.86 参照
● BICコードから検索	_	0	Δ	•	Δ	0	0	0	0	0	BIC(SWIFT)コードでの検索後、検索結果の一覧から選択することで、銀行名などが自動で入力されます。
銀行名・都市名から検索	_	0	Δ	0	Δ	•	•	0	0	0	銀行名・都市名での検索後、 検索結果の一覧から選択する ことでBC(SWIFT)コード などが自動で入力されます。
直接入力する	_	×	Δ	×	Δ	0	0	0	0	×	送金先銀行が SWFT 非加盟 の場合、銀行情報はすべて直接入力してください。 >>>> P.88 参照

【入力項目欄】ullet : 検索条件として入力、igotimes : 自動取得される項目、igotimes · igotimes · その他の入力項目(必須/任意/不可)

- ➤SWIFT 非加盟の金融機関には対応しておりませんので、その場合は「直接入力」でご対応ください。
- ▶経由銀行はSWIFT 加盟が前提となるため、「直接入力」はできません。(任意の非加盟金融機関等は指定できません。) また、「直接入力」ではBIC(SWIFT)コードは指定できません。(入力された場合も無効とします。)
- ▶米国 ABA ナンバーなどの国別銀行コードは取得・検索の対象外ですので、必要に応じて依頼画面から入力してください。

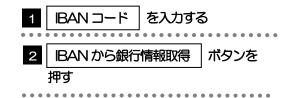
y₹

- ▶「銀行情報取得」ボタンや「銀行情報を入力して検索」リンクで取得した内容は、その後修正や承認を行った際、または テンプレート登録を行って依頼画面に読み込んだ際は、その時点での最新状態に自動で更新されます。(銀行名などが変更 されていた場合は変更後の内容が表示されます。)
- ▶但し、該当金融機関の統廃合等によりIBANコードやBIC(SWIFT)コード自体が無効となった場合は更新されません(銀行名などが表示されません)ので、その場合はコード内容をご確認のうえ、再度検索などの操作を行ってください。
- ▶「直接入力」を行った場合は、修正/承認操作やテンプレート読込時も入力内容がそのまま引き継がれます。

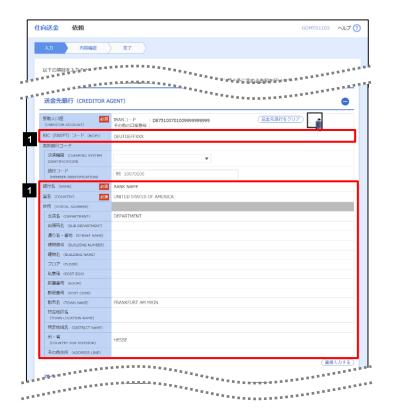
6.1 IBANから銀行情報取得

6.1.1 IBANコードを入力し、[IBANから銀行情報取得]を押します。





6.1.2 銀行情報が反映されました。



1 銀行情報を反映 🔒

取得したBC(SWFT)コード、および銀行名・国名・住所が表示されます。

y₹

- ▶画面に反映されたBIC(SWIFT)コード、および銀行名・国名・住所は、IBAN コードの入力内容も含め変更できません。 入力しなおす場合は「送金先銀行をクリア」ボタンを押してください。
- ▶国別銀行コードは自動反映後も入力可能ですので、必要に応じて入力してください。

6.2 BICから銀行情報取得

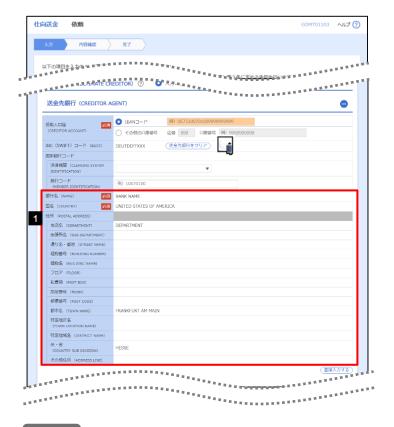
6.2.1 BIC (SWIFT) コードを入力し、[BIC から銀行情報取得] を押します。



 1
 BIC (SWIFT) コード
 を入力する

 2
 BIC から銀行情報取得
 ボタンを押す

6.2.2 銀行情報が反映されました。



1 銀行情報を反映 🔓

取得した銀行名、国名および住所が表示されます。

J ⊁€

- ▶11 桁で入力する場合、末尾3 桁に「XXX」は指定できませんので、この場合は「XXX」を除く8 桁で入力してください。(末尾が「XXX」でない場合は11 桁で検索可能です。)
- ➤画面に反映された銀行名・国名・住所は、 BIC (SWIFT) コードの入力内容も含め変更できません。 入力しなおす場合は「送金先銀行をクリア」(経由銀行の場合は「経由銀行をクリア」) ボタンを押してください。
- ▶送金先銀行の場合、国別銀行コードは自動反映後も入力可能ですので、必要に応じて入力してください。(受取人口座についても変更可能です。)
- ▶IBAN コードを入力した場合も「BIC から銀行情報取得」は可能ですが、この場合は入力したIBAN コードとBIC(SWIFT) コード(および自動反映された銀行名・国名・住所)との整合性はチェックされませんので、ご留意ください。

6.3 銀行情報を入力して検索

6.3.1 [銀行情報を入力して検索する]を押します。



1 銀行情報を入力して検索する を押す 検索画面に遷移します。

6.3.2 検索条件を入力して、「絞り込み」を押します。



1 検索方法 を選択する

「BIC コードから検索」または「銀行名・都市名から検索」のラジオボタンを選択します。

2 検索条件を入力します。 🔓

3 絞り込み ボタンを押す。

検索結果の一覧画面を表示します。

≝ ≭E

- ▶以下の検索条件が指定可能です。
 - BIC コードから検索: 「BIC (SWIFT) コード」(必須/前方一致)
 - ・銀行名・都市名から検索:「銀行名」(必須/部分一致) および「都市名」(任意/部分一致)

➤BIC コードで検索する場合、末尾3桁が「XXX」の11桁コードは検索できません(8桁コードのみ検索対象となります)ので、該当金融機関の本店などを検索する場合は、末尾の「XXX」を除く8桁以内で入力してください。(末尾が「XXX」でない11桁コードは検索可能です。)

633 検索結果の一覧より銀行情報を選択します。



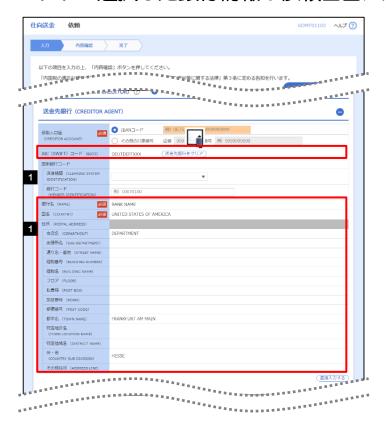
1 BC (SWFT) コード リンクを 押す。

依頼画面に戻ります。



▶一覧の検索結果は100件まで表示されます。

6.3.4 選択した銀行情報が依頼画面に反映されました。



1 選択した銀行情報を依頼画面に反映

選択した金融機関のBIC (SWIFT) コード、および銀行名・国名・住所が表示されます。

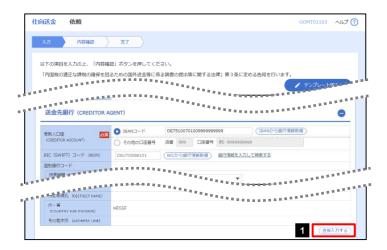
※必要な情報が自動反映されるため、編集の必要はございません。

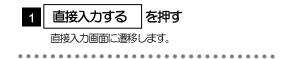
y₹

- ➤画面に反映された BIC (SWIFT) コード、および銀行名・国名・住所は変更できません。 入力しなおす場合は「送金先銀行をクリア」(経由銀行の場合は「経由銀行をクリア」) ボタンを押してください。
- ▶送金先銀行の場合、国別銀行コードは反映後も入力可能ですので、必要に応じて入力してください。(受取人口座についても変更可能です。)
- ▶IBAN コードを入力した場合も「銀行情報を入力して検索」は可能ですが、この場合は入力した IBAN コードと検索結果の BIC(SWIFT)コード(および銀行名・国名・住所)との整合性はチェックされませんので、ご留意ください。

6.4 直接入力

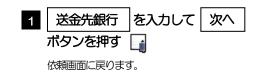
6.4.1 送金先銀行欄右下の[直接入力する]を押します。





6.4.2 銀行情報を入力して、 [次へ] を押します。

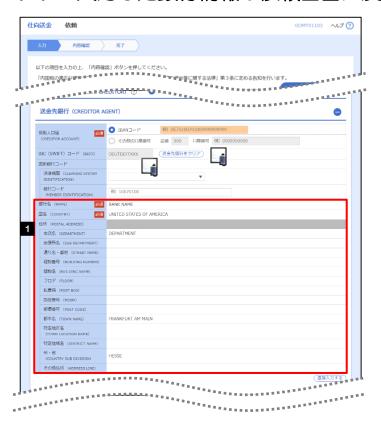






▶BIC (SWIFT) コードは入力できません。(入力欄がありません。)

6.4.3 入力した銀行情報が依頼画面に反映されました。



1 入力した銀行情報を依頼画面に反映 🔓

I ★モ

- ▶反映された入力内容は変更できません。
 入力しなおす場合は「送金先銀行をクリア」ボタンを押してください。
- ▶「直接入力する」ボタンを押す前にBIC (SWIFT) コードを入力していた場合、該当の入力内容はクリアされます。 (銀行名や住所の入力内容を優先し、BIC (SWIFT) コードは無効とします。) 「直接入力」はSWIFT 非加盟の金融機関を指定する場合のみご利用ください。

8. 印刷・ファイル取得

1 印刷

お客さまのお申込内容(申込書)や弊行が作成した計算書などをPDF形式ファイルで印刷できます。 印刷できるPDF帳票は、以下のとおりです。

サービス種類	ボタン名	PDF 帳票 の種類	取らめ 選択可否	最大印刷件数
仕向送金	申込書印刷	申込書	0	100件
	一覧印刷	一覧	×	1,000件

^{※1 「}取引の選択可否」欄が"×"(不可)の場合、取引の選択有無に関わらず、すべての取引を一括印刷します。 ただし、一覧印刷については取引ではなく、取引の一覧を印刷します。

^{※2 「}取引の選択可否」欄が"O"(可能) の場合、同じページに表示されている取引のうち、選択された取引のみ印刷します。 異なるページに跨って表示された取引を選択することはできません。

^{※3} 並び順を変更し再表示した場合、再表示後の順序で印刷されます。

2 ファイル取得

お客さまのお申込内容(申込書)や弊行が作成した計算書などをファイルとして取得できます。 取得できるファイルは、以下のとおりです。

サービス種類	ボタン名	取得ファイルの種類	既の選択可否	最大 取得件数	取得ファイルの形 式 CSV 形式
仕向送金	申込ファイル取得	申込データ	0	100件	0
管理	ファイル取得	操作履歴データ	~	10,000件	

- ※2「取らの選択可否」欄が"〇"(可能)の場合、同じページに表示されている取らいうち、選択された取らいみファイルに出力します。 異なるページに跨って表示された取らを選択することはできません。
- ※3 並び順を変更し再表示した場合、再表示後の順序でファイルに出力されます。
- ※4 操作履歴は、画面に表示されていない操作履歴も取得されます。

⚠ 注意

- ➤CSV 形式ファイルを Excel で開いた際、数値項目の桁落ち(先頭のゼロが表示されない)や日付項目の表示崩れなどが発生する場合は、以下の手順をお試しください。(元の CSV 形式を Excel のテキスト形式に変更します。)
 - ①新規のExcelファイルを開きます。
 - ②[データ]タブで、[外部データの取込]>[テキストファイル]を選択します。
 - ③対象のCSVファイルを指定し、[インポート]を押下します。
 - ④[テキストファイルウィザード]で、[カンマやタブなどの区切り文字によってフィールドごとに区切られたデータ]を選択し、[次へ]を押下します。
 - ⑤[区切り文字]に[カンマ]を選択し、[次へ]を押下します。
 - ⑥画面下部の[データのプレビュー]で、表示されたデータをすべて選択します。(シフトキーを押しながら末尾の列をマウスクリックすると全選択されます。)
 - ⑦この状態で画面上部の[列のデータ形式]に[文字列]を選択し、[完了]を押下します。
 - ⑧[データの取込]で、[データを返す先を選択してください。]に[新規のワークシート]を選択し、[OK]を押下します。
 - ⑨Excel ファイルがテキスト形式で表示されますので、必要に応じて[名前を付けて保存]で保存してください。

9. 利用者情報の管理

1 概要

お客さまのパスワード(ログインパスワード、確認用パスワード)およびメールアドレスの変更手順などについて説明します。

ご自身の状況にあわせて手順をご確認ください。

しみず法人ダイレクトバンキングサービスから各種操作を行うことができます。

▼ログインパスワード・確認用パスワード

■ご自身のパスワードを変更したい

「利用者管理」からご自身のパスワードを変更してください。>>>> P.95 参照 パスワードの変更には、現在利用されているパスワードを入力する必要があります。

■パスワードが利用停止になってしまった

マスターユーザ、または管理者ユーザへ利用停止の解除を依頼してください。 >>>> P.95 参照 併せて、パスワードの変更も依頼してください。 >>>> P.95 参照

パスワード変更後にログインを行うと「パスワード強制変更」画面が表示されますので、ご自身が利用されるパスワードに変更してください。>>>> P.96 参照

ご自身以外にマスターユーザ、または管理者ユーザがいない場合は、お取引店までご連絡ください。

■パスワードを失念してしまった

マスターユーザ、または管理者ユーザへパスワードの変更を依頼してください。»»» P.95 **参照** パスワード変更後にログインを行うと「パスワード強制変更」画面が表示されますので、ご自身が利用されるパスワードに変更してください。»»» P.96 **参照**

ご自身以外にマスターユーザ、または管理者ユーザがいない場合は、お取引店までご連絡ください。

■ログインしたら「パスワード強制変更」画面が表示された

マスターユーザ、または管理者ユーザが登録したパスワードから、ご自身が利用されるパスワードへ変更してください。>>>> P.96 参照

パスワードの変更には、マスターユーザ、または管理者ユーザから連絡されたパスワードを入力する必要があります。

■パスワードの有効期限が切れてしまった

ログインを行うと「パスワード期限切れ」画面が表示されます。>>>> P.97 参照パスワードの変更には、現在利用されているパスワードを入力する必要があります。

■マスターユーザ、および管理者ユーザがすべて利用停止になってしまった お取引店までご連絡ください。

▼メールアドレス

■ご自身のメールアドレスを変更したい

マスターユーザ、または管理者ユーザに変更を依頼してください。»»» P.99 参照

2 操作手順

2.1 ご自身のパスワード変更

ご自身のログインパスワード、および確認用パスワードを変更することができます。 「しみず法人ダイレクト オンラインマニュアル」の「パスワード変更」をご確認ください。 https://www.shimizubank.co.jp/corporate/rationalization/direct/manual/bsl0401.html

y₹

▶パスワードの有効期限が過ぎる前に、パスワードの変更をご検討ください。 有効期限を過ぎてもパスワードを変更されていない場合、ログインした際に「パスワード有効期限切れ画面」が表示されます。>>>> P.97 参照

2.2 パスワード利用停止の解除(マスターユーザ/管理者ユーザ)

マスターユーザ、または管理者ユーザは、パスワード利用停止になった他のユーザを解除(利用可能な状態に)することができます。

「しみず法人ダイレクト オンラインマニュアル」の「利用者停止・解除」をご確認ください。 https://www.shimizubank.co.jp/corporate/rationalization/direct/manual/bsl0303.html

2.3 他ユーザのパスワード変更(マスターユーザ/管理者ユーザ)

マスターユーザ、または管理者ユーザは、他のユーザのログインパスワード、および確認用パスワードを変更することができます。

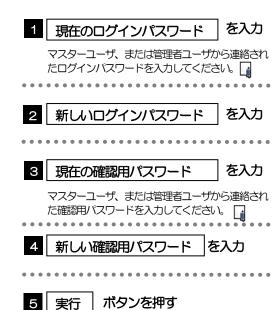
「しみず法人ダイレクト オンラインマニュアル」の「利用者情報変更・削除」をご確認ください。 https://www.shimizubank.co.ip/corporate/rationalization/direct/manual/bsi0302.html

2.4 パスワード強制変更

マスターユーザ、または管理者ユーザにパスワードを変更された状態でログインすると、「パスワード強制変更」画面に変更対象のパスワードが表示されますので、ご自身のパスワードへの変更を行ってください。

2.4.1 パスワード強制変更画面に表示された変更対象のパスワードを変更し、 [実行] を押します。





y ⊀€

- ▶マスターユーザ、または管理者ユーザから連絡されたパスワードを失念された場合、パスワードの変更は行えません。 もう一度、マスターユーザ、または管理者ユーザにパスワードの変更をご依頼ください。>>>>> P.95 参照
- ▶すべてのユーザがパスワードの変更を行えない場合、お取引店までご連絡ください。
- ▶「ログインパスワード」、「確認用パスワード」の説明については、**P.7** をご参照ください。

2.4.2 ご自身のパスワードが変更されました。



1 確認 ボタンを押す

しみず法人ダイレクトバンキングサービスのトップ ページが表示されます。

<u></u> ★モ

▶パスワードの有効期限が過ぎる前に、パスワードの変更をご検討ください。 有効期限を過ぎてもパスワードを変更されていない場合、ログインした際に「パスワード有効期限切れ画面」が表示されます。>>>> P.97 参照

2.5 パスワード有効期限切れ

パスワードの有効期限が切れた状態で、ログインすると「パスワード期限切れ」画面に変更対象のパスワードが表示されますので、パスワードの変更を行ってください。

2.5.1 パスワード期限切れ画面に表示された変更対象のパスワードを変更し、 [実行] を押します。





y₹

- ▶現在ご利用いただいているパスワードを失念された場合は、パスワードの変更は行えません。 マスターユーザ、または管理者ユーザにパスワードの変更をご依頼ください。>>>> P.95 参照
- ▶すべてのユーザがパスワードの変更を行えない場合、お取引店までご連絡ください。
- ▶「ログインパスワード」、「確認用パスワード」の説明については、**P.7** をご参照ください。

2.5.2 ご自身のパスワードが変更されました。



1 確認 ボタンを押す

しみず法人ダイレクトバンキングサービスのトップ ページが表示されます。



▶パスワードの有効期限が過ぎる前に、パスワードの変更を行ってください。

2.6 メールアドレスの変更

マスターユーザ、または管理者ユーザは、ご自身、および他ユーザのメールアドレスを変更することができます。

「しみず法人ダイレクト オンラインマニュアル」の「利用者情報変更・削除」をご確認ください。 https://www.shimizubank.co.jp/corporate/rationalization/direct/manual/bsl0302.html